

【アドミッション・ポリシー】（入学者選抜の基本方針）

本校は、高等学校や大学とは異なる高等専門学校本来の魅力を一層高めるという使命に燃え、日本の産業構造の国際化ならびに高度化に伴う急速な変化に柔軟に対応できる学力や創造力に加えて、環境に配慮した人間性豊かで倫理観を備えた技術者を育成することを目的としています。このような教育理念のもと、本校における受入方針は、ディプロマ・ポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学させるためのものです。具体的には、次のような人を求めています。

《本科入学者に求める人材像》

1. 基礎学力が身につけている人
2. コミュニケーション能力の基礎が身につけており、グローバルな視点で活躍したい人
3. 主体的に勉学や課外活動に取り組んでいる人
4. 科学的探求心が旺盛で、ものづくりを通して人や地域社会の発展に貢献したい人

《4年次編入学者に求める人材像》

1. 基礎学力の修得に努めており、さらに専門の知識を身につけたい人
2. 好奇心が旺盛で、常に知識を獲得し、能力の開発を目指して努力する人
3. 学んだ知識を活用し社会に貢献したい人

本校では、入学者の選抜に関しては、以下の方針に従って選抜を行います。

《本科入学者選抜の基本方針》

【推薦選抜】

推薦による選抜では、在籍中学校等の校長より提出された調査書から基礎学力が身につけているかを評価し、本校が実施する面接の評価項目から主体的に学習等に取り組む態度、及び、思考力・判断力・表現力などを総合的に判定します。

【学力選抜】

学力による選抜では、本校の教育を受けるのに必要な基礎学力を有した者を選抜するため、学力検査の成績及び在籍（又は出身）中学校等の校長から提出された調査書に基づいて行います。学力検査は筆記試験で、国語、数学、英語、理科の4教科です。また調査書は主に主体的に学習に取り組む態度、及び思考力・判断力・表現力を身に付けているかを評価します。

【帰国子女特別選抜】

帰国子女特別選抜では、面接検査（口頭試問【理科、英語、数学】を含む）及び調査書等で総合的に判定します。

《4年次編入学者選抜の基本方針》

編入学者の選抜では、学力検査の成績、出身（在籍）高等学校長から提出された調査書及び面接に基づき行います。

本校専攻科では、高等専門学校基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授し、その研究を指導することを目的としています。このような教育理念のもと、本校における受入方針は、ディプロマ・ポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学させるためのものです。具体的には、次のような人を求めています。

《専攻科入学者に求める人材像》

1. 国際的視野を持ち、先端技術の融合により世界の持続的成長に貢献するものづくりの技術的能力の獲得を目指している人
2. 産業界の要請に対して、創造的手法により革新的な価値創生を実現できる融合的な開発的能力の習得を目指している人
3. 高専本科などにおいて、基盤となる専門科目を習得したのちに、さらに融合分野の学修や研究に強い意欲を持つ人

本校専攻科では、入学者の選抜に関しては、以下の方針に従って選抜を行います。

《専攻科入学者選抜の基本方針》

専攻科入学者の選抜では、専攻科での勉学に支障のない学力、目的意識及び学習意欲を十分に備えた人物を選抜します。選抜の方法としては「推薦による選抜」、「学力検査による選抜（前期・後期）」及び「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

【推薦選抜】

推薦による選抜は、在学する高等専門学校長または所属学科長から提出された推薦書、調査書から基礎学力が身につけているかを評価し、自己申告書及び面接検査の結果から主体的に学習等に取り組む態度、及び、思考力・判断力・表現力などを総合して判定します。

【学力選抜】

学力による選抜は、出身（在学）学校長の証明する調査書及び学力検査の結果から基礎学力が身につけているかを評価し、自己申告書から主体的に学習等に取り組む態度、及び、思考力・判断力・表現力などを総合して判定します。

【社会人特別選抜】

社会人特別選抜は、出身学校の校長または学長から提出された調査書から基礎学力が身につけているかを評価し、在職する企業等の長が作成した推薦書、自己申告書及び面接検査の結果から主体的に学習等に取り組む態度、及び、思考力・判断力・表現力などを総合して判定します。